



お城の店が目印です。



長門屋

発行 有限会社 長門屋
編集：未来の種まき委員会
〒990-0042
山形市七日町 1-4-12
TEL 023-622-2204
FAX 023-622-2203
http://oshironomise.com
2018 年 第 23 号

あどつあま

“あどつあま”とは…

仏様をさす方言。米沢の方では住職様、僧侶をさす方言です。
宗教の知識を通してお役にたてれば嬉しいです。



前列 右側が弥左工門様、左側が奥様、後列 右側が娘様、左側がお孫さん、真ん中の女の子がひ孫さん!

大石田町田沢地区で代々続く、高橋家の総本家、御年八十九才の高橋弥左工門様。現在四世代八人が暮らすご自宅で、元気に過ごされています。この度、ご縁をいただきお仏壇を洗濯させていただきました。キレイになったお仏壇で再び“祈りのある暮らし”が始まってからの感想を、弥左工門様、奥様、娘様に伺いました。

祈りのある暮らし
お仏壇ものがたり
大石田町 高橋様の巻

Q. お仏壇を洗濯しようと思われたきっかけを教えてください。

(弥左工門様) 以前から、いつかは修復しなければと思っていました。ちょうどその時農協さんのチラシを見て、すぐ電話しました。長門屋さんといえば、その道の先生、山形では一番の老舗だと思っていたので、何の抵抗もなく依頼しました。営業担当の人も、なかなかだと思いました。

Q. お仏壇の洗濯や、買い替えを考えている方へアドバイスをお願いします。

(弥左工門様) 「したいと思ったらすぐする。」「思った時が吉日」です。新しく買っても、ありがたいのは同じだと思うけど、先祖代々あるものは大切にする。先祖様のご縁が繋いでいると思います。ご縁があったときは決断してやるべきだと思いますね。迷いも何もない。

仏壇屋さんには他にもあるけど、老舗の長門屋さんだと思います。

Q. お仏壇の洗濯後の心境や暮らしの変化はありますか？

(奥様) こんなに立派になるとは、ありがたいばかりです。

(弥左工門様) 仏壇が立派になったというところがひとつ、子ども達、孫、ひ孫みんな一日一回は、仏さまに手を合わせることを約束したこと、ご飯を炊いたら必ず、仏さまにあげることを続け、守って



お洗濯前



お洗濯後

いくように話したことです。仏壇を中心に、家のことを進めていってもらいたと思っています。

(娘様) 改めて、この家に先祖が残してくれたものがありがたさ、感謝の気持ちと、この仏壇をこれから伝えていく責任を感じました。それをこの年になって、やっぱり仏壇というものを次の世代に伝えていくことの大切さを、この修復を通して、父が私たちに伝えてくれたと思います。

いつもあったものが、お洗濯によって、目に見えるカタチになりました。それを心、精神として子ども達、孫達に伝えていきたいと思っています。



両親、先祖への感謝、そして子ども達への伝えていくことの大切さを改めて思い起こさせていただきました。
(インタビュー・撮影 国島)

「守り本尊」について、説明中!



好評につき、出張第3弾!!

守り本尊入り 腕輪珠数作り講座 in天童



東住宅産業さんの常務、白鳥明美さんのお人柄により集まった方々と、また新たなご縁をいただいたことに感謝です。



楽しく作ることができました。

仏教の話を聞いて、是非お寺廻りをしてみたいになりました。

仏教のこともっと知りたいと思いました。

うれしいご感想、ありがとうございました♪

参加された方の声を聞くことで、こちらも「次はこんなことを話してみよう」と、意欲がわき、モチベーションが上がるので、とてもありがたいです。中には、ご家族全員の誕生石を入れて作った方もいらっしゃいました!これこそ、「世界に一つだけの腕輪珠数」になりますね。(小瀧)

去る三月八日(木)、天童市の東住宅産業さんのあったか〜い展示場で、「出張腕輪珠数づくり講座」をさせていただきました。前回のお盆に続き、三回目。春彼岸に合わせた今回の参加者は、九名でした。外は寒いのに、部屋の中は、足元から上方まで均一な、何とも快適な暖かさ!そんな気持ちよさを感じながら、早速見本をお見せしながら、宗派別に形の違う、本式の珠数について、お話しさせていただきました。また、今回作った腕輪珠数には、お一人お一人の生まれ年で決まる、「守り本尊の仏さま」の梵字入りの木珠が一つ入るので、そのお話しも。

本かわら版編集

「未来の種まき委員会」メンバーが行ってきました。

教室は、ご住職夫妻が改修し、茶室にした蔵の中で開かれています。



男性の所作は自然なふるまい、女性はひと手間かけた動作をするという言葉が印象的でした。日本の文化的思考の一端が見えたような気がしました。男性は何事も自然体であるべきなのではないか、それが美しい生き方なのではないかと感じました。社会人になってから、こういった文化的なものやマナーの基本になるものを学ぶ機会が少ないので、有意義な二時間になったと思います。(後藤)

佇まいを最大限に生かしながら、ほかに「和讃の会」や「オカリナの会」等も開いております。(笹林)

しゃくぎょうじ

岩波の石行寺さんで 「茶道体験」の巻!



石行寺
山形市岩波 115
023-651-6414

最上三十三観音霊場の第七番「岩波観音」の札所である天台宗の寺院「石行寺」さんは、開山千三百年を越える古刹。滝のある流水式庭園が名高く、春は枝垂れ桜、秋はモミジやイチヨウの紅葉の美しさが素晴らしく、季節ごとに訪れたい風光明媚なお寺です。

早春のある日、我らスタッフ五人で、佐藤亮照五十七世住職の奥様が月二回開かれている茶道教室に、特別にお願いして、体験させていただきました。これはスタッフの後藤の、「仏教の思想が息づいている茶道を、体験を通して学びたい。その学びは、普段のお客様へのおもてなしにも通じるはずですよ」との想いから端を発し、石行寺様の格別のご配慮により実現したものです。一緒に生徒さんの中に、ご住職や副住職も混じり、不慣れな私たちに対して、終始温かく穏やかに接して下さい、心地よくありがたかったです。「お寺は生きている人のためにある」というご住職の想いのもと、先代から引き継がれたお寺で、建物や庭の佇まいを最大限に生かしなが